



平成 23 年 4 月 28 日

各 位

上場会社名 日本化成株式会社
代表者 取締役社長 中村英輔
(コード番号 4007)
問合せ先責任者 経理部長 関信哉
(TEL 03-5540-5861)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 2 月 4 日に発表した業績予想および平成 22 年 10 月 28 日に発表した配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益又は 当期純損失(△) | 1 株 当 たり 当期純利益又は 当期純損失(△) |
|-----------------------------|--------|-------|-------|---------------------|---------------------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 40,000 | 2,900 | 2,900 | 1,440 | 13.70 |
| 今回発表予想(B) | 39,100 | 3,050 | 3,000 | △1,000 | △9.52 |
| 増減額(B-A) | △900 | 150 | 100 | △2,440 | |
| 増減率(%) | △2.3% | 5.2% | 3.4% | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期) | 38,301 | 1,454 | 1,232 | 661 | 6.29 |

修正の理由

当連結会計年度(平成 23 年 3 月期)の業績は、機能化学品事業および無機化学品事業関連需要が当初想定以上の進展を見せ、これに各種収益向上諸施策の効果も相俟って比較的順調に推移してまいりましたが、去る 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響により、小名浜工場の一部設備が被災し、同工場は操業を停止しました。その後、損傷が小さかった設備から順次操業を再開しましたが、一方で被害が広範にわたっておりましたことから、被害額の算定と復旧プランの策定に時間を要し、今般、ようやく復興計画を取り纏めるに至りました。それらを踏まえ、あらためて業績を見通した結果、設備被災により生産活動に影響が及んだこと、震災に伴う復旧費用を今年度の決算において特別損失として計上することとしたこと等により、最終的な通期連結業績は、誠に遺憾ながら、売上高及び当期純利益が本年 2 月 4 日に発表した業績予想数値を下回らざるを得ない見通しとなりました。

● 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| | 第1四半期 末 | 第2四半期 末 | 第3四半期 末 | 期末 | 合計 |
| 前回発表予想 (平成22年10月28日発表) | 円 銭 — | 円 銭 0.00 | 円 銭 — | 円 銭 4.00 | 円 銭 4.00 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 2.00 | 2.00 |
| 当期実績 | — | 0.00 | — | | |
| 前期(平成22年3月期)実績 | — | 0.00 | — | 2.00 | 2.00 |

修正の理由

当社は、利益配当につきましては、連結業績に応じて安定的に行っていくことを基本方針としつつ、財務体質の健全性に配慮し経営基盤の強化及び将来の事業展開に必要な内部留保の充実に努め、これらを総合的に勘案して決定することとしております。

平成23年3月期の配当予想につきましては、本日発表いたしましたとおり、平成23年3月期通期連結純損益が、東日本大震災に伴う復旧費用の特別損失計上等により、赤字となる見通しとなりましたことから、誠に遺憾ながら、1株当たり4円(期末、普通配当)から2円(期末、普通配当)へ修正せざるを得なくなりました。

なお、最終的には、平成23年5月12日開催予定の取締役会において決定の後、同年6月29日開催予定の当社第97回定時株主総会に付議する予定です。

※ 業績予想および配当予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上